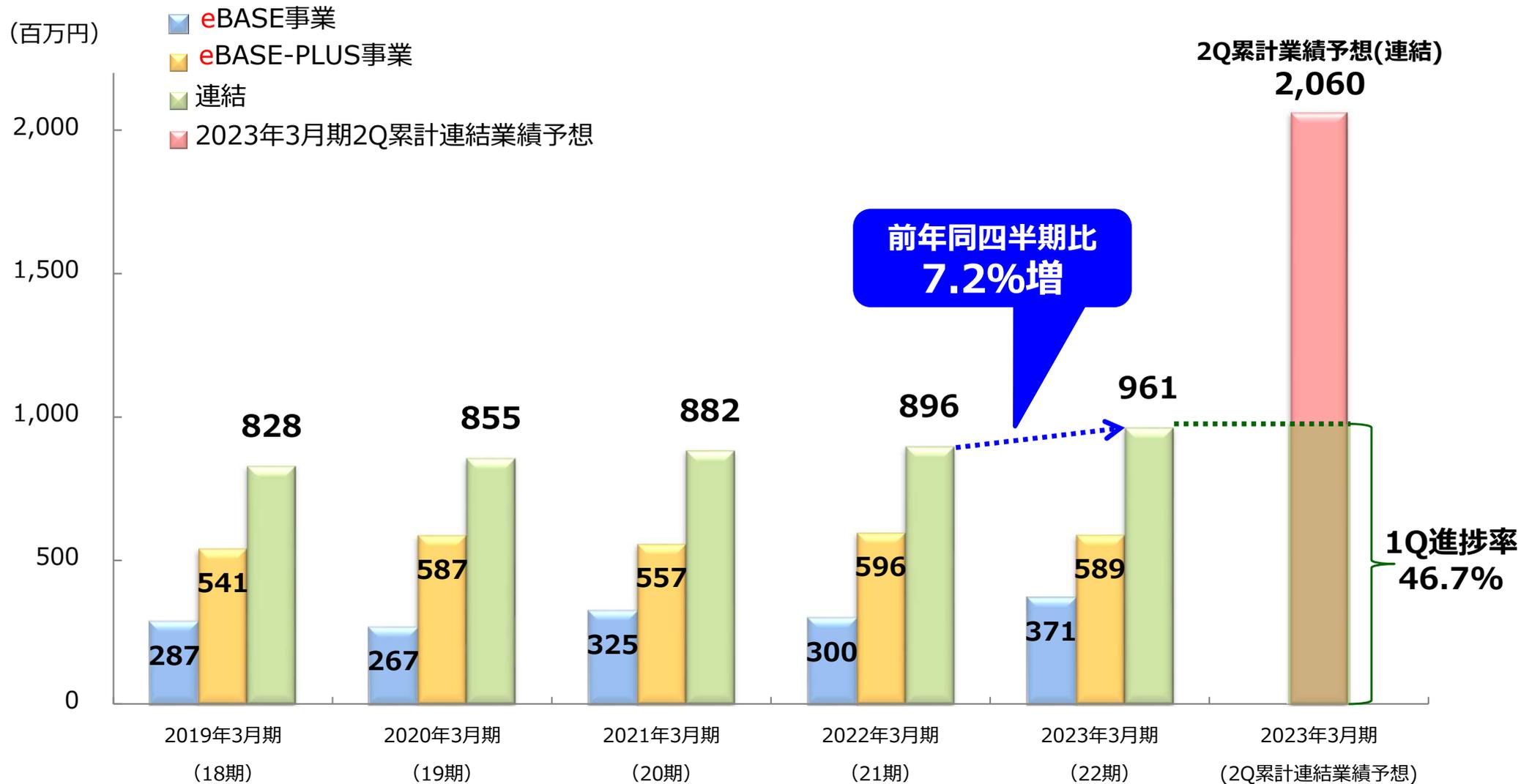


eBASE株式会社 2023年3月期 第1四半期決算と事業報告

証券コード：3835

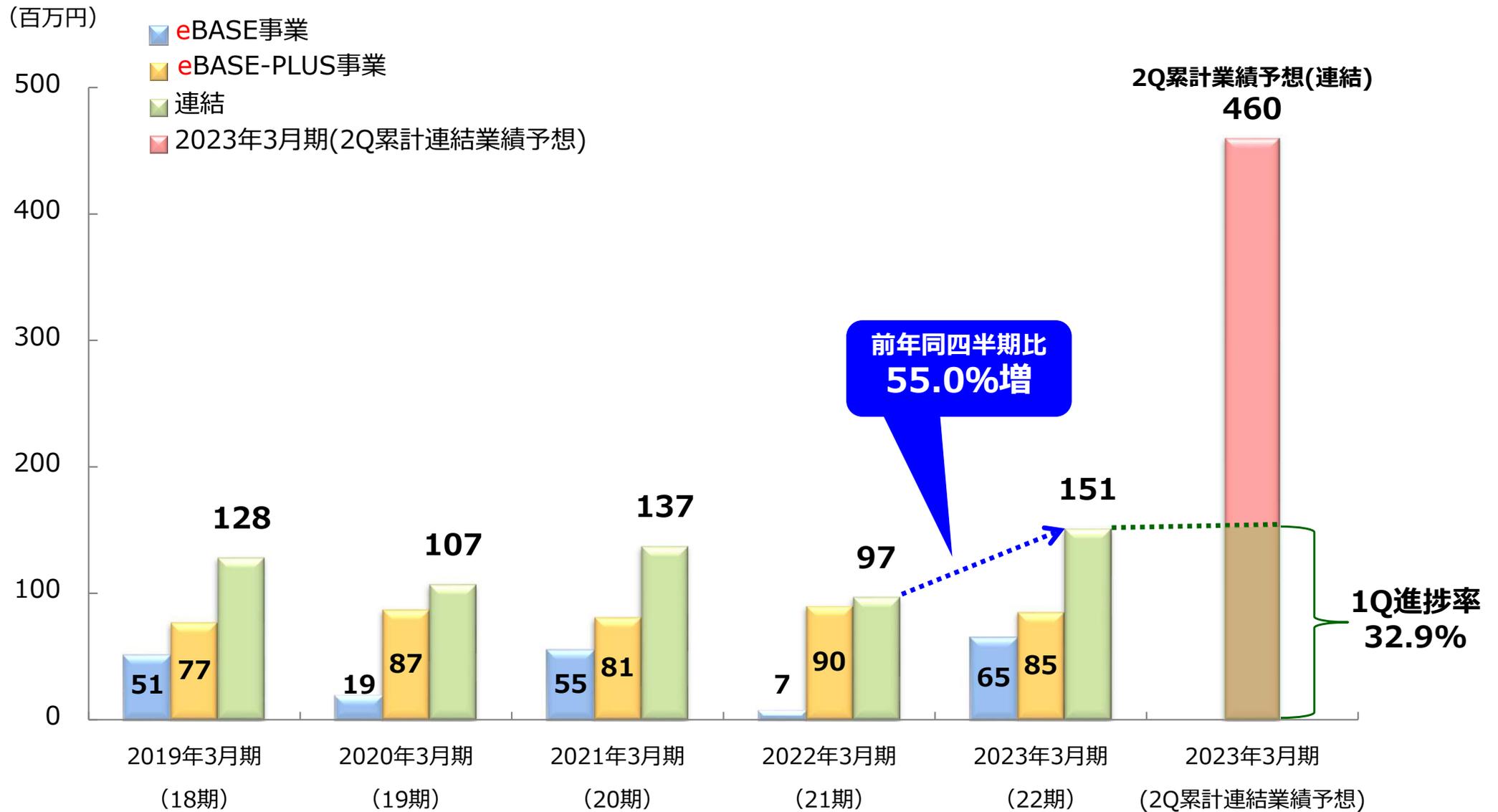
※増減率は1円単位で表示された数字で計算しております。

第1四半期決算 連結売上高の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております

第1四半期決算 連結経常利益の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております

第1四半期決算 連結業績・連結貸借対照表の推移

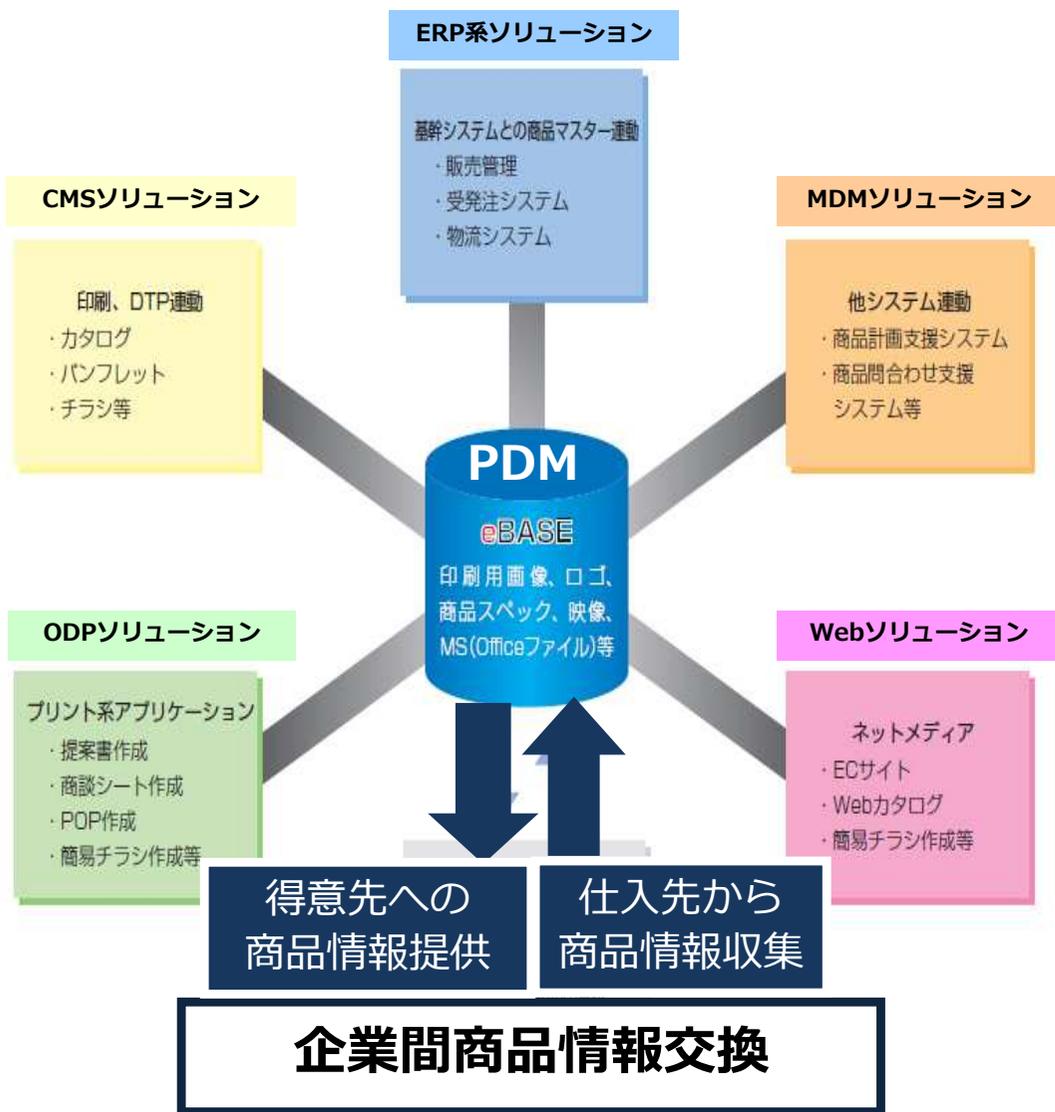
(単位：百万円)

	2019年3月期 (第18期)	2020年3月期 (第19期)	2021年3月期 (第20期)	2022年3月期 (第21期)	2023年3月期 (第22期)
売上高	828	855	882	896	961
(eBASE事業)	(287)	(267)	(325)	(300)	(371)
(eBASE-PLUS事業)	(543)	(590)	(557)	(596)	(590)
(セグメント間取引)	(△2)	(△2)	(△1)	(△0)	(△0)
営業利益	118	98	129	92	147
経常利益	128	107	137	97	151
(eBASE事業)	(51)	(19)	(55)	(7)	(65)
(eBASE-PLUS事業)	(78)	(87)	(81)	(90)	(85)
(セグメント間取引)	(△0)	(0)	(0)	(0)	(0)
親会社株主に帰属する 当期純利益	87	71	92	64	101

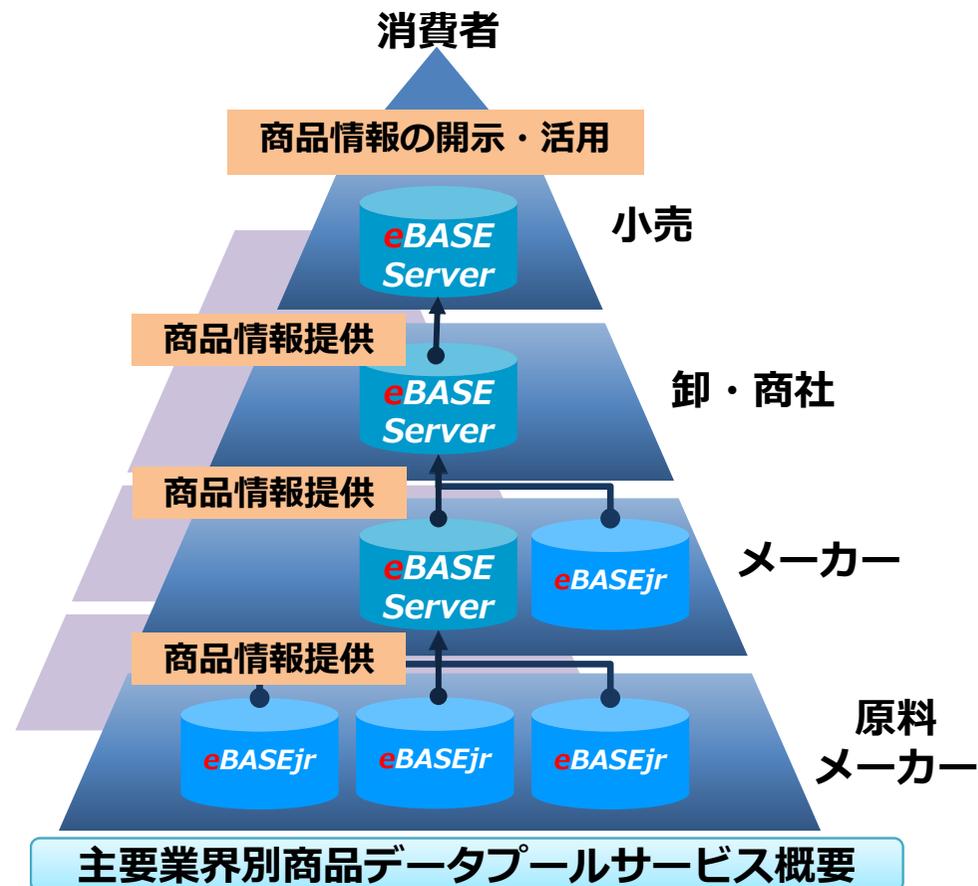
	前期 (2022年3月末)	当期 (2022年6月末)	前期末比	
流動資産	4,963	4,695	△268	受取手形及び売掛金及び契約資産△293
固定資産	1,342	1,358	15	
(有形+無形資産)	(135)	(146)	(11)	
(その他)	(1,207)	(1,211)	(4)	
資産合計	6,306	6,053	△252	
流動負債	455	439	△15	
負債合計	460	447	△13	
株主資本合計	5,778	5,531	△246	利益剰余金△165 (配当金支払△267) (親会社株主に帰属する四半期純利益の計上+101) 自己株式の取得△81
新株予約権	11	12	0	
純資産合計	5,845	5,606	△239	
負債・純資産合計	6,306	6,053	△252	

eBASE事業概況(BtoBモデル)

統合商品データベースeBASE概要



業界別の商品情報交換サービス概要



eBASE事業のビジネスシナリオの経緯と現状(1st eBASE)

◆ミドルウェアeBASE
システム開発の圧倒的効率化

コア コンピタンス

◆業界別商品情報交換標準化

食材、日雑(日用品、雑貨)、家電、住宅、医薬、
工具、カー用品、スポーツ用品、文具、……



ビジネスモデル

BtoB
モデル

◆業界別商品情報交換の
全体最適化 生産性向上

推進戦略

◆商品情報データプールサービス

「商材えびす」

食材えびす、レシピえびす、日雑えびす、
家電えびす、住宅えびす、OTCえびす、
文具えびす、工具えびす、カー用品えびす、
スポーツ用品えびす、マスターデータえびす ……



2nd eBASE コンテンツビジネス展開

プロダクト/マネタイズ

◆業界別 統合商品DB パッケージソフト販売

FOODS eBASE/食の安全情報管理システム
RECIPE eBASE/料理レシピ情報管理システム
GOODS eBASE/日雑商品情報管理システム
MDM eBASE/マスターデータマネジメント
PDM eBASE/新製品企画情報管理システム
……

eBASE事業の中長期戦略(2nd eBASE)

◆業界別商品情報データプールサービス 「商材えびす」

コア コンピタンス

◆OMO/CX/DX推進

ビジネスモデル

小売企業(B)

消費者向けアプリ採用

販促(B)効果増

採用小売が
普及促進
(BtoC)

消費者 (C)
ユーザー増

BtoBtoC
モデル

◆エコシステム

推進戦略

Only One → 商材えびす活用
企画力 → 特許+先行逃げ切り
超安価 → MWeBASE+多業界共通

プロダクト/マネタイズ

◆OMO/CX/DX推進の消費者向けアプリ

e食なび、e食くいず、e食カタログ、e食ちらし
e食れしび、Drugstore Navi、e住なび、...

BtoBtoCサービス関連特許

特許第6758734号

特許第6798741号

特許第6807105号

特許第6820016号

特許第6943382号

特許第7024952号……

3rd eBASE PersonalProfileビジネス展開

DX(デジタルトランスフォーメーション) by eBASE (1st eBASE with 2nd eBASE)

1.5th eBASE

商材えびす

食材えびす 日雑えびす 家電えびす 住宅えびす …マスタデータえびす

1st eBASE

統合商品データベース eBASE

メディア
Digitalization



ECコマース
Digitalization



基幹系システム
Digitalization



OMO

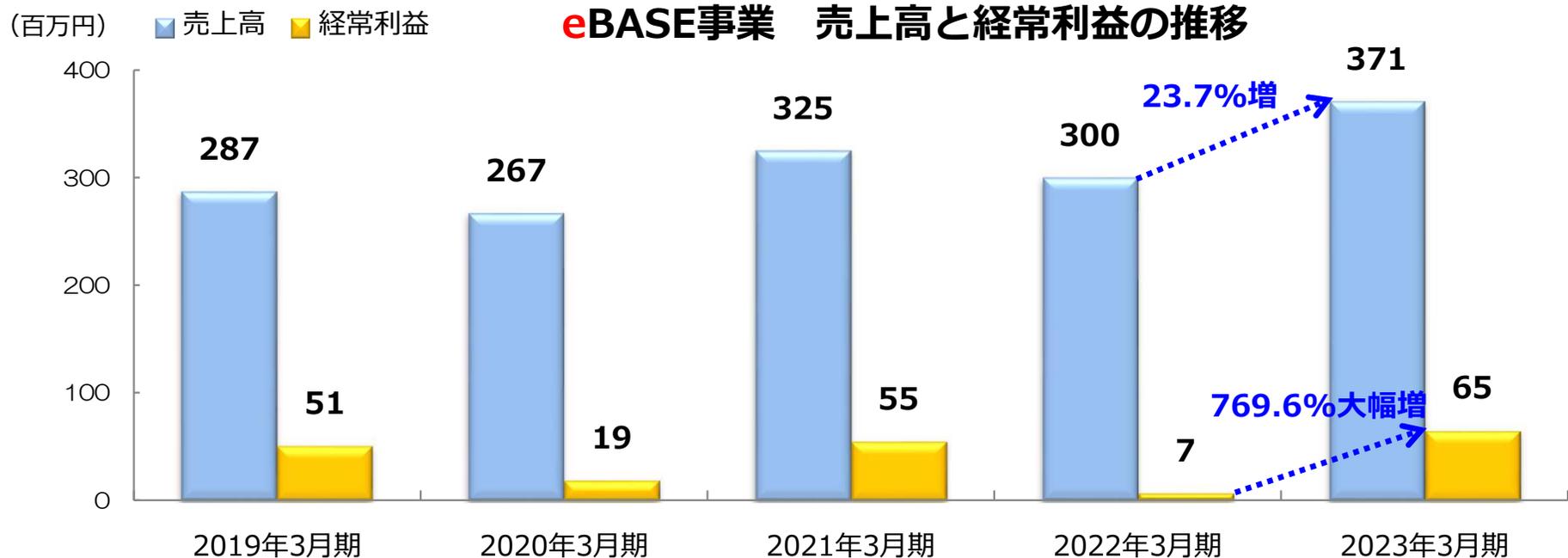
(Online Merges with Offline)

2nd eBASE

CX(Customer Experience) & DX(Digital Transformation)

第1四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

eBASE事業（パッケージソフトビジネス）



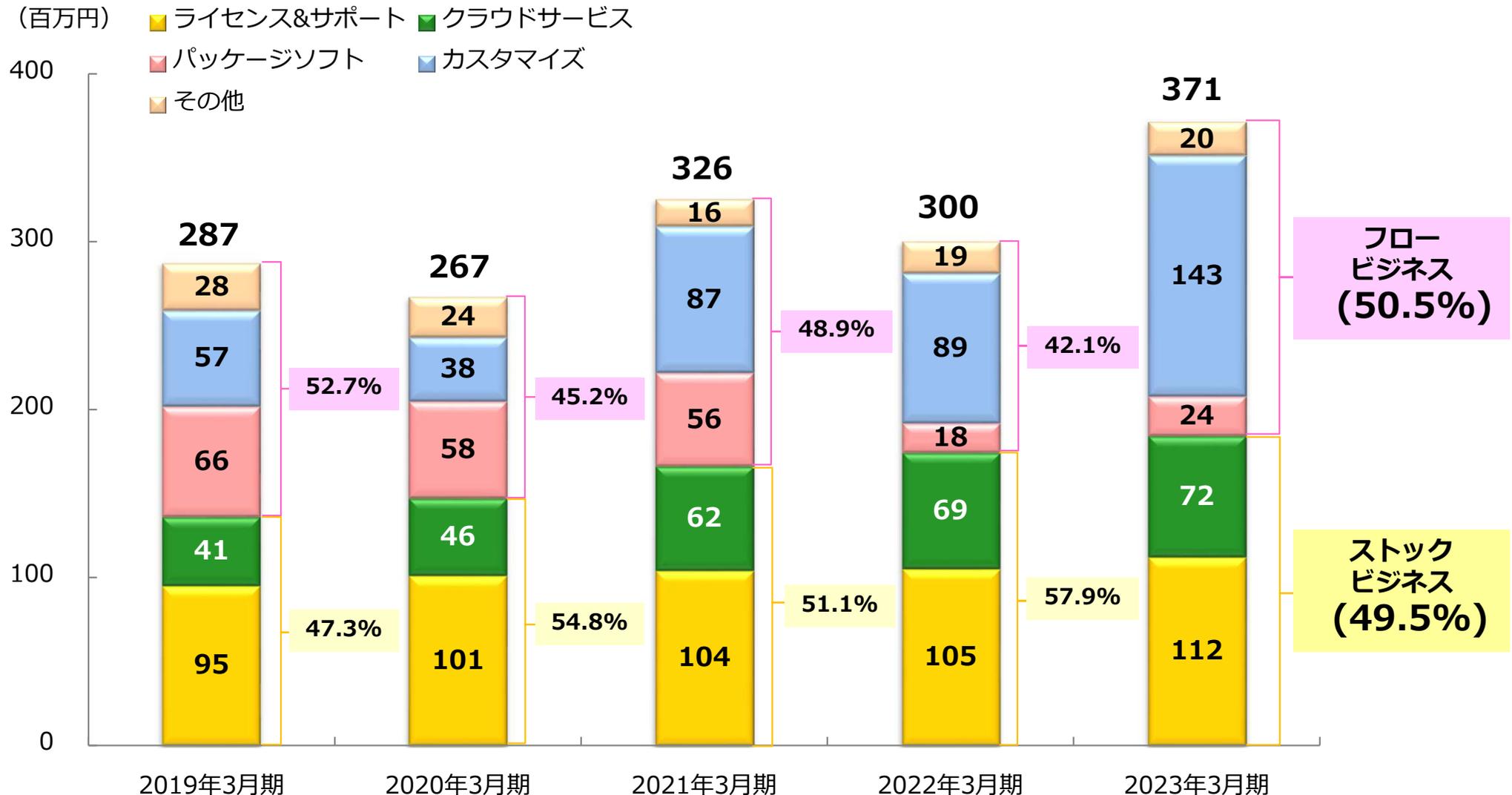
総括

注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

- ・ 前期に検収予定であった大型案件の進捗が進んだことの影響から売上、利益とも増加
- ・ 食品業界では「FOODS eBASE」の提案活動を継続展開しスーパー、コンビニエンスストアの各業態から、大型案件を継続受注
- ・ 日雑業界では、深耕と新規により工具、スポーツ用品、文具、衣料品小売の各業界から大型受注や売上があり、またドラッグストア、ホームセンターで大型の拡張案件を受注
- ・ 住宅業界では、住宅設備、家電設備等の住まいに関する製品情報と取扱説明書やパンフレット等の管理を実現するスマホアプリ「e住なび」を継続展開

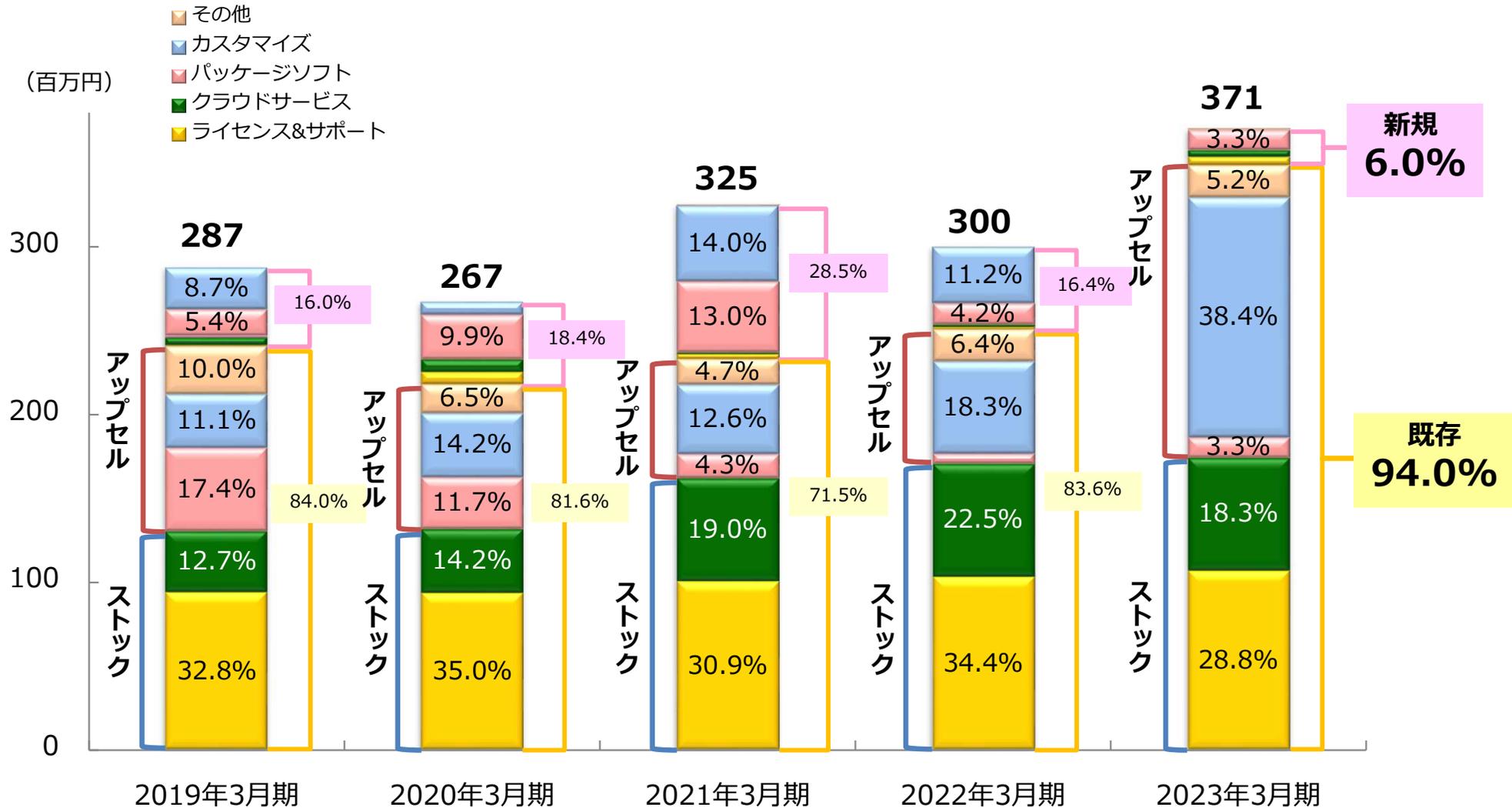
第1四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

種類別販売実績の推移



第1四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

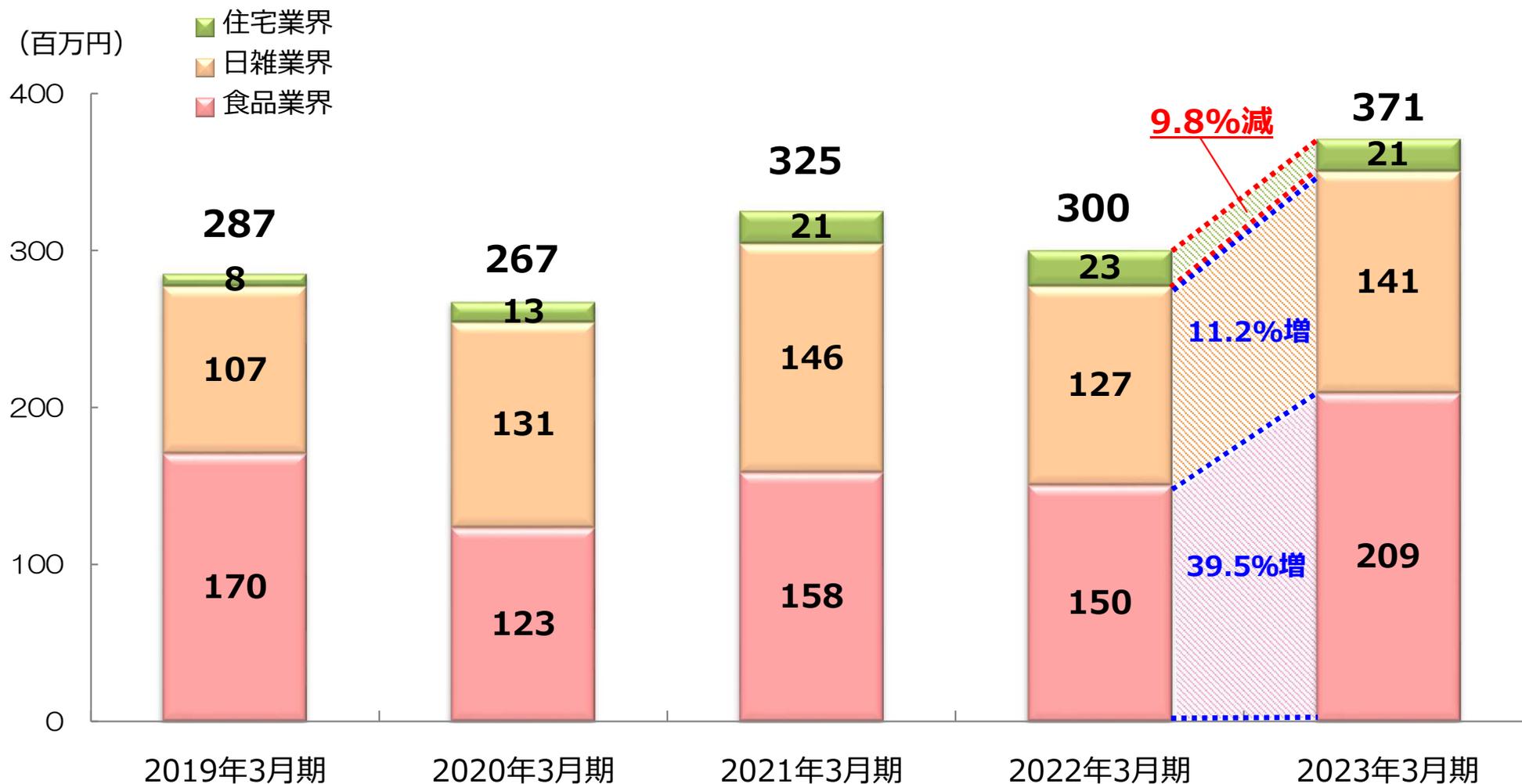
新規・既存別販売実績の推移



注1) 3%未満の数字は記載を省略しております。

第1四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

業界別売上実績の推移



第1四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

食品業界 今期施策とその進捗

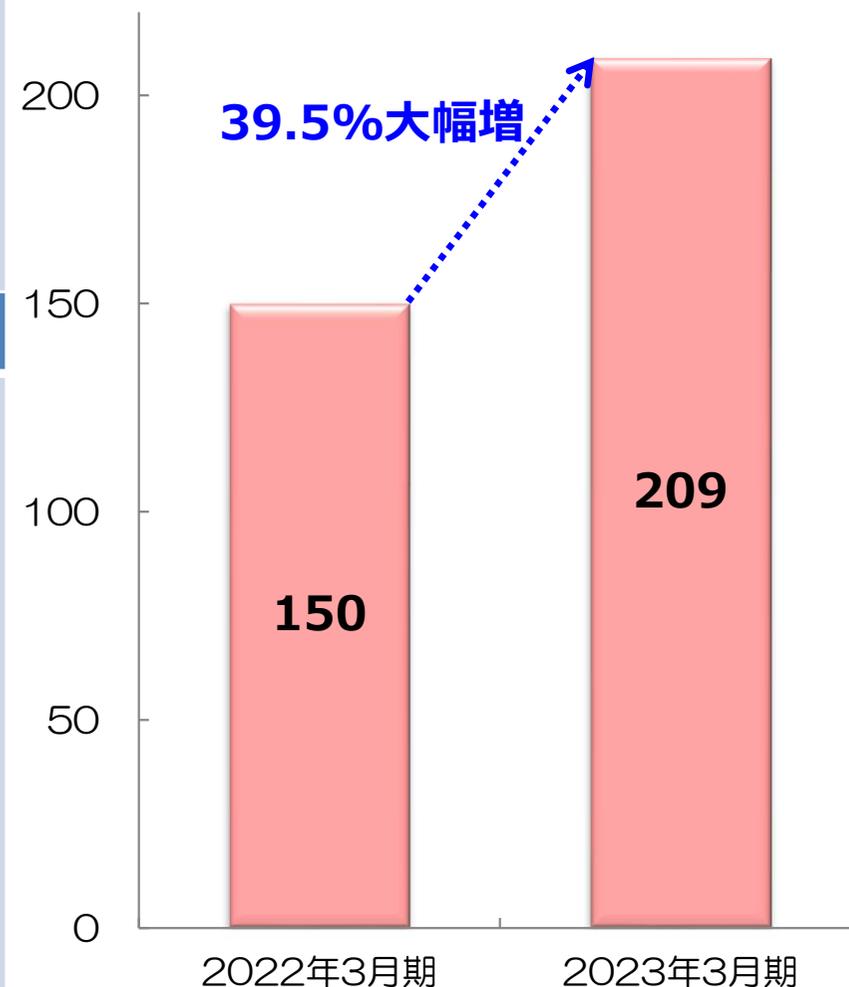
2023年3月期 施策

- ・ 現事業モデル「FOODSeBASE」の継続推進
- ・ 商品データプールサービス「食材えびす」のデファクト化の継続推進と販促強化
- ・ 消費者向けスマホアプリ(e食なび等)によるBtoBtoCモデルの推進
- ・ 特許戦略に基づく各種新サービスの開発

その進捗

- ・ 売上実績(1Q累計): 209百万円
- ・ 消費者庁から「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック」が公表され、ECサイト等でも充実した食品表示が必要となる社会的背景もありネットスーパーやECサイトでの「食材えびす」の利用の引き合いが増加
- ・ 食品小売向け販売促進支援サービス「e食なび」、「e食カタログ」、「e食暮らし」の普及推進と営業展開を継続
- ・ 「FOODS eBASE」の需要は堅調に推移し、前期に検収予定であった大型案件の進捗が進んだことで、売上高は前年同四半期比で大幅な増加

(百万円) 食品業界 売上実績
(前年同四半期比)



第1四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

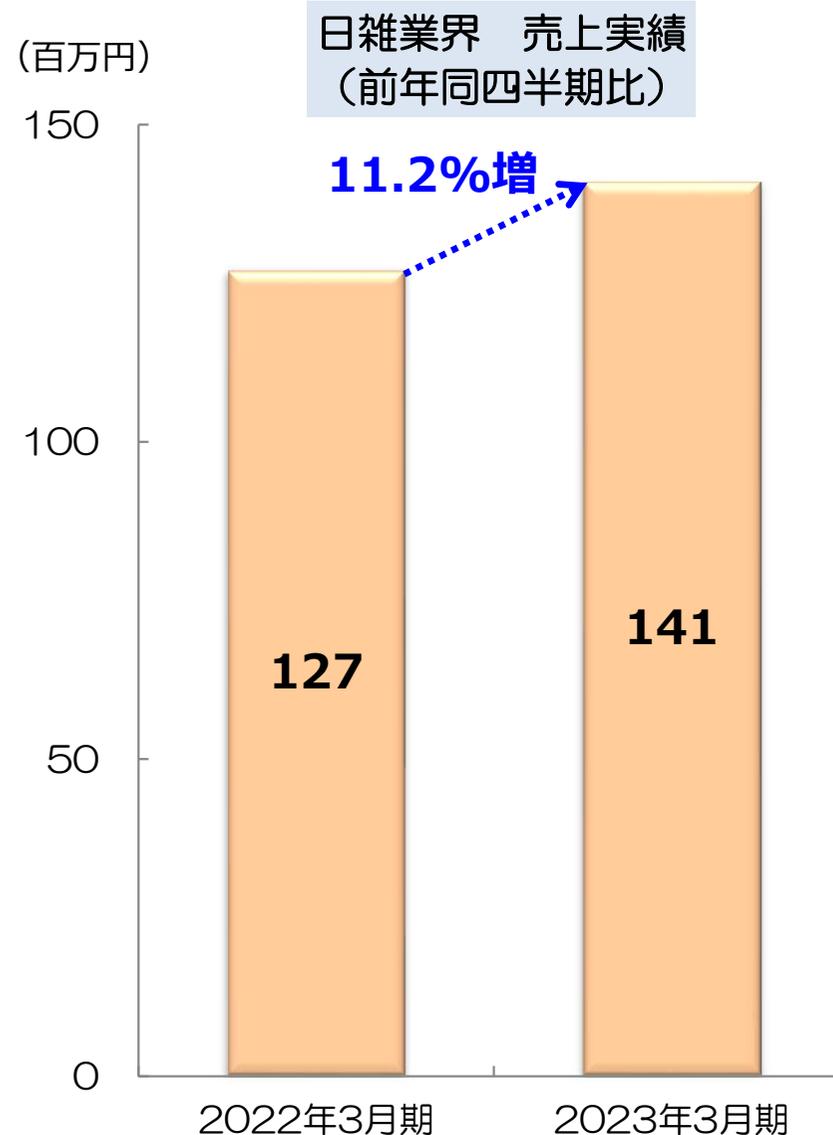
日雑業界 今期施策とその進捗

2023年3月期 施策

- ・日雑業界（ドラッグストア業界、ホームセンター業界、文具業界、スポーツ用品業界、カー用品業界、通販業界等）で商品情報交換環境の全体最適化を推進
- ・商品データプールサービス「日雑えびす」を中心に「商材えびす」の販促を推進
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DB受託開発の推進

その進捗

- ・売上実績（1Q累計）：141百万円
- ・「日雑えびす」を中心に販売促進活動に注力
- ・既存顧客のスポーツ用品、文具、ドラッグストア、ホームセンターの各業界から継続的に大型受注
- ・新規に工具業界、衣料品小売からの大型受注
- ・新規の小売企業で「eB-goods (R)」の運用を開始
- ・商品マスタデータを小売企業間で共有する
「マスタデータえびす」は、小売企業10社から商品マスタデータ800万点を収集し、サービスを開始
- ・「日雑えびす」等の「商材えびす」開発販促に努め、売上高は前年同四半期比で増加



第1四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

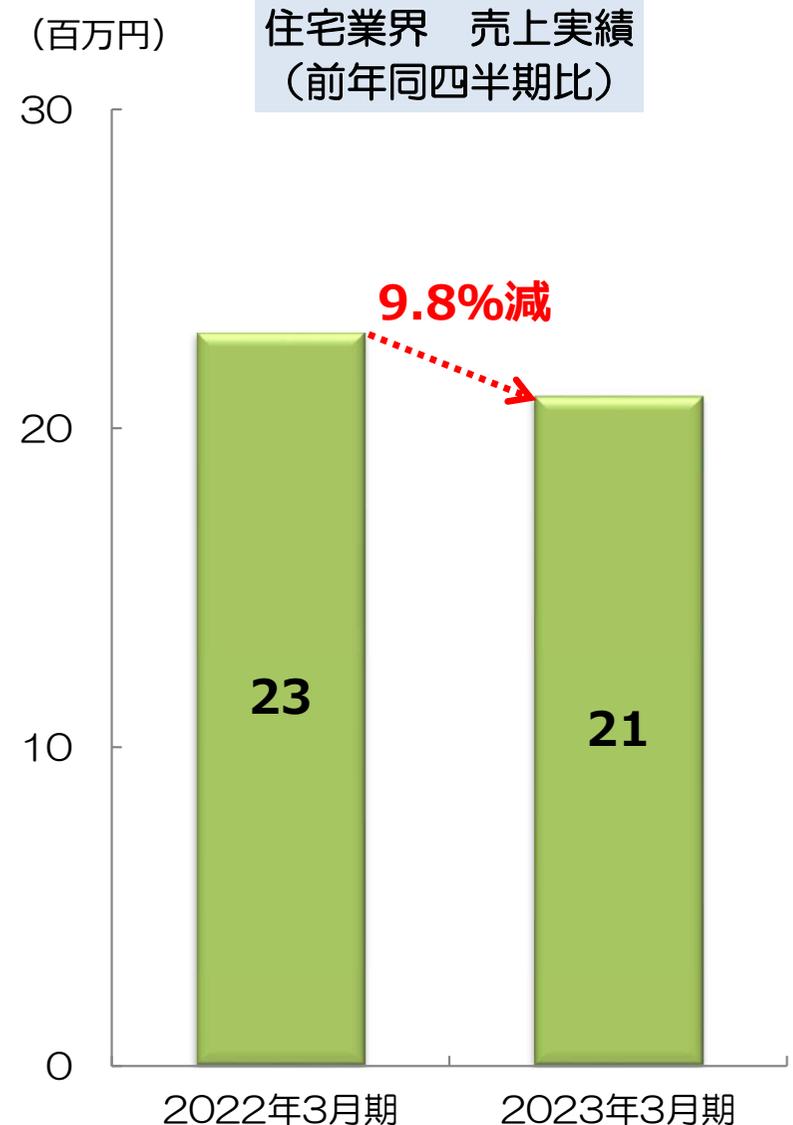
住宅業界 今期施策とその進捗

2023年3月期 施策

- ・商品データプールサービス「住宅えびす」のデファクト化推進
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DBの受託開発の推進

その進捗

- ・売上実績（1Q累計）：21百万円
- ・大手ハウスメーカーでは「住宅えびす」と「e住なび」を活用した、施主向け設備情報開示の本番運用が継続し、複数の大手ハウスメーカーや中小ハウビルダーからも引合いが増加
- ・大手ハウスメーカー5社に対して、先行している「e住なび」の導入事例を提案
- ・中堅ホームビルダーには、「e住なび」を利用した施主への取扱説明書データ開示環境として低価格なクラウドサービス利用について提案開始
- ・大手建材メーカーにて「eBASE」を活用した統合商品情報DB構築の大型案件に対する要件定義を受注
- ・売上高は前年同四半期比で減少



eBASE-PLUS事業概況

eBASE社や顧客企業からの受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守等の
「IT開発アウトソーシングビジネス」

◆システムソリューション

①ソフトウェア開発

企画・分析・設計・構築・導入・運用管理・保守をサポート。

②インフラ構築

サーバー、クライアント環境構築業務をサポート。

◆サポートサービス

①統合運用管理

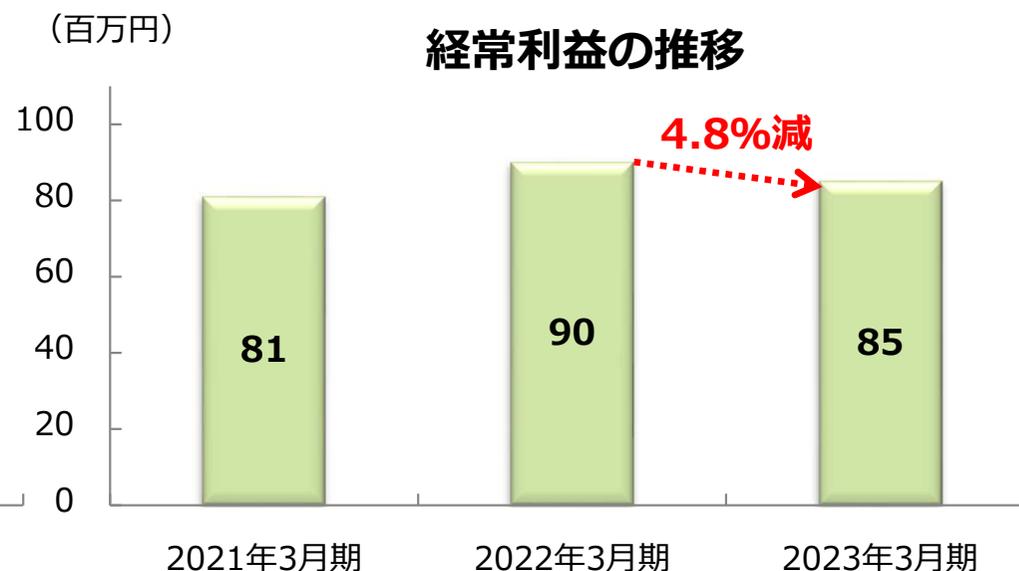
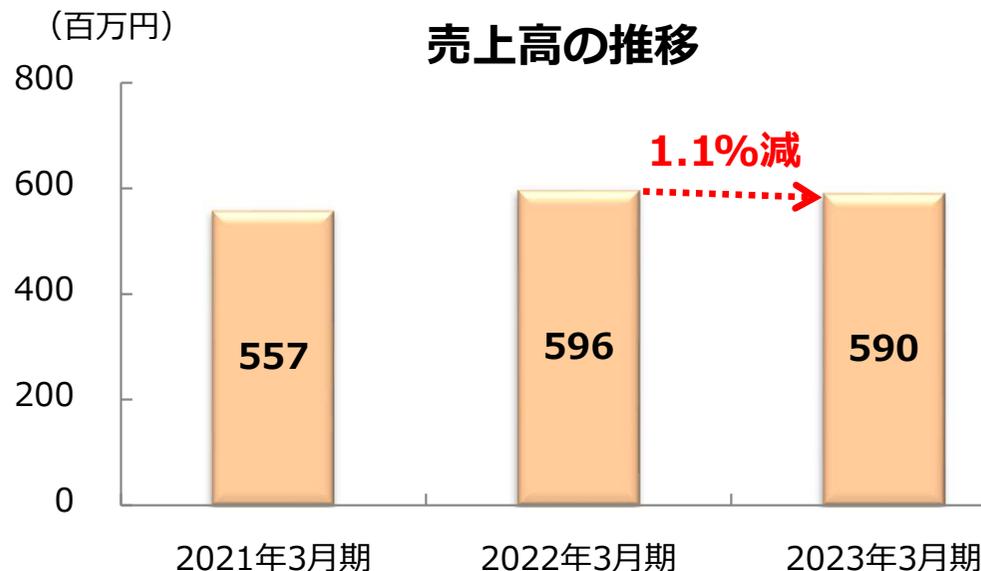
ITシステムの運用をサポート。

②ヘルプデスク

1次対応から技術スキルを要する2次対応までのヘルプデスク。

第1四半期決算セグメント毎の概況 / eBASE-PLUS 事業

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）



総括

注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2023年3月期 施策

- ・ 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持
- ・ 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討
- ・ eBASEビジネスとの連携
- ・ 人材の新規採用の継続及び育成
- ・ 優良M&A案件の推進

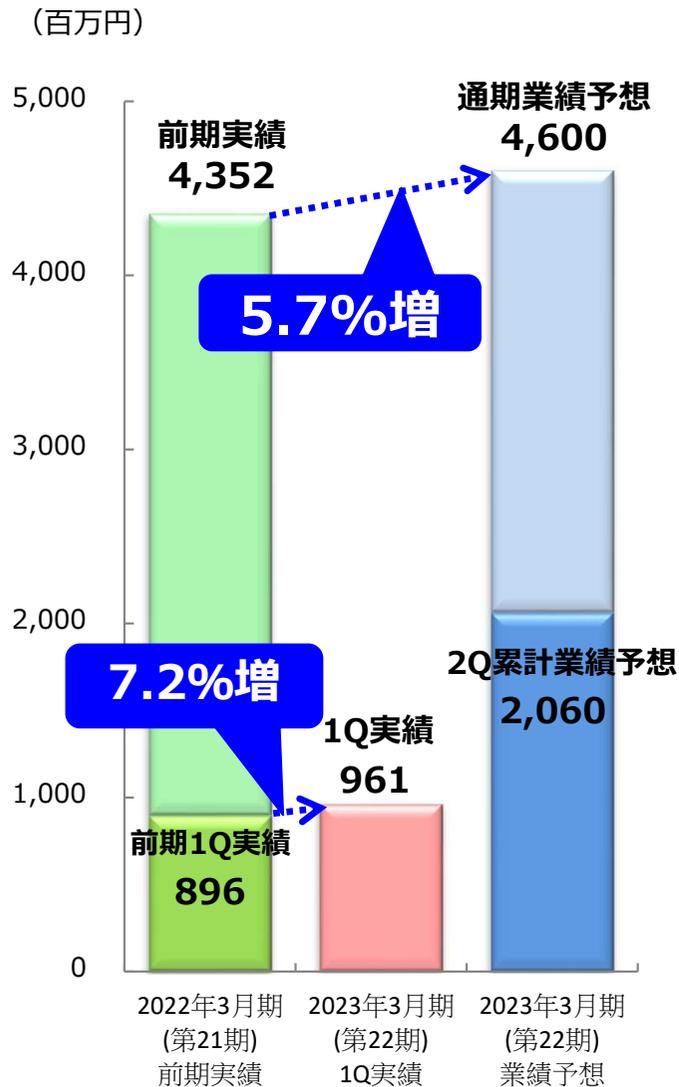
その進捗

- ・ 売上実績（1Q累計）：590百万円(減収)
- ・ 利益実績（1Q累計）：85百万円(減益)
- ・ 顧客ニーズに沿った案件獲得に注力
- ・ 開発技術者退職の影響と補充採用の遅れ
- ・ 一部の案件で規模の縮小が発生

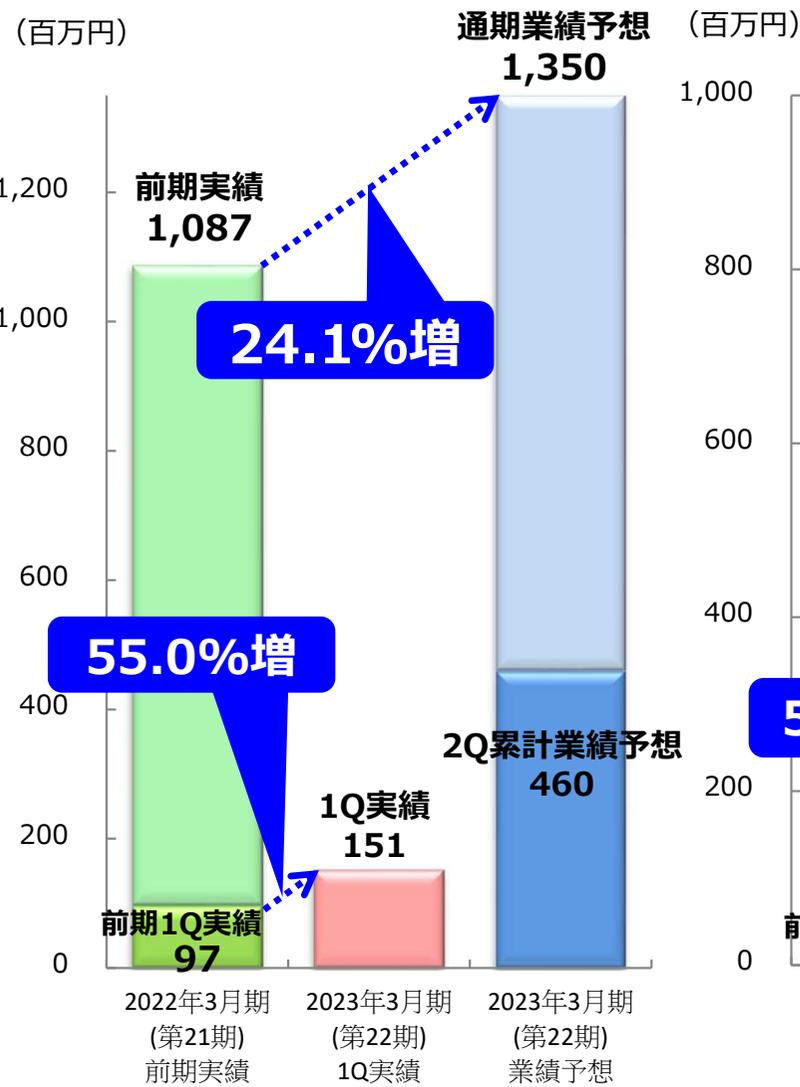
2023年3月期の連結業績予想

■ 2022年3月期（1Q実績）
 ■ 2022年3月期（通期実績）
 ■ 2023年3月期（1Q実績）
 ■ 2023年3月期（2Q累計業績予想）
 ■ 2023年3月期（通期業績予想）

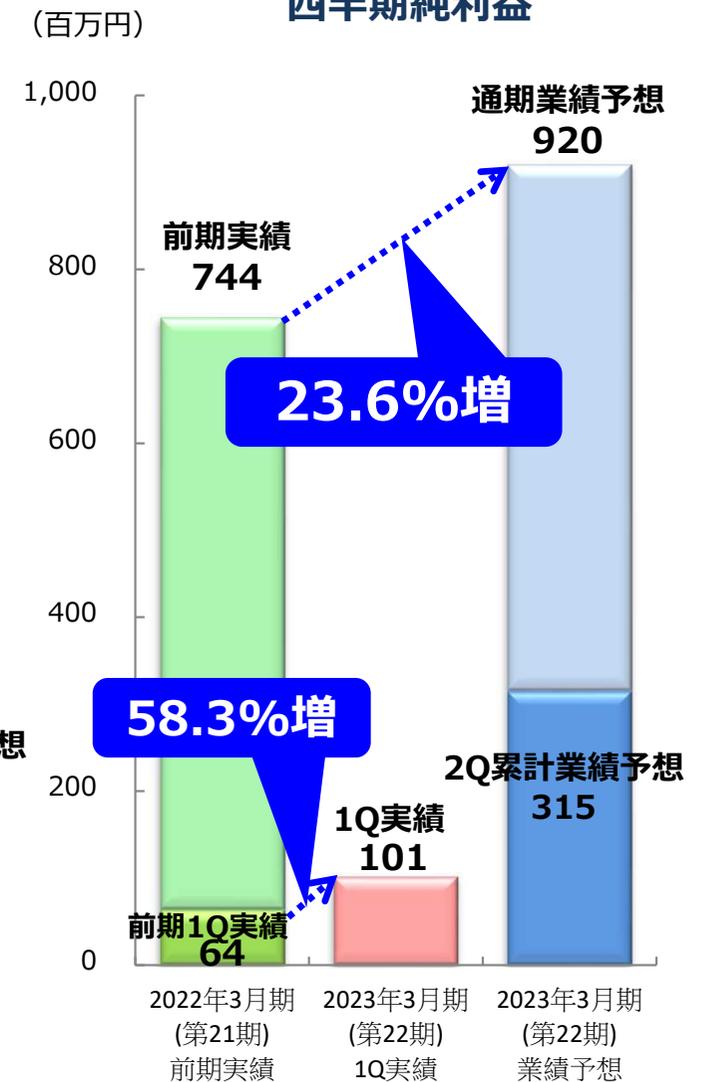
売上高



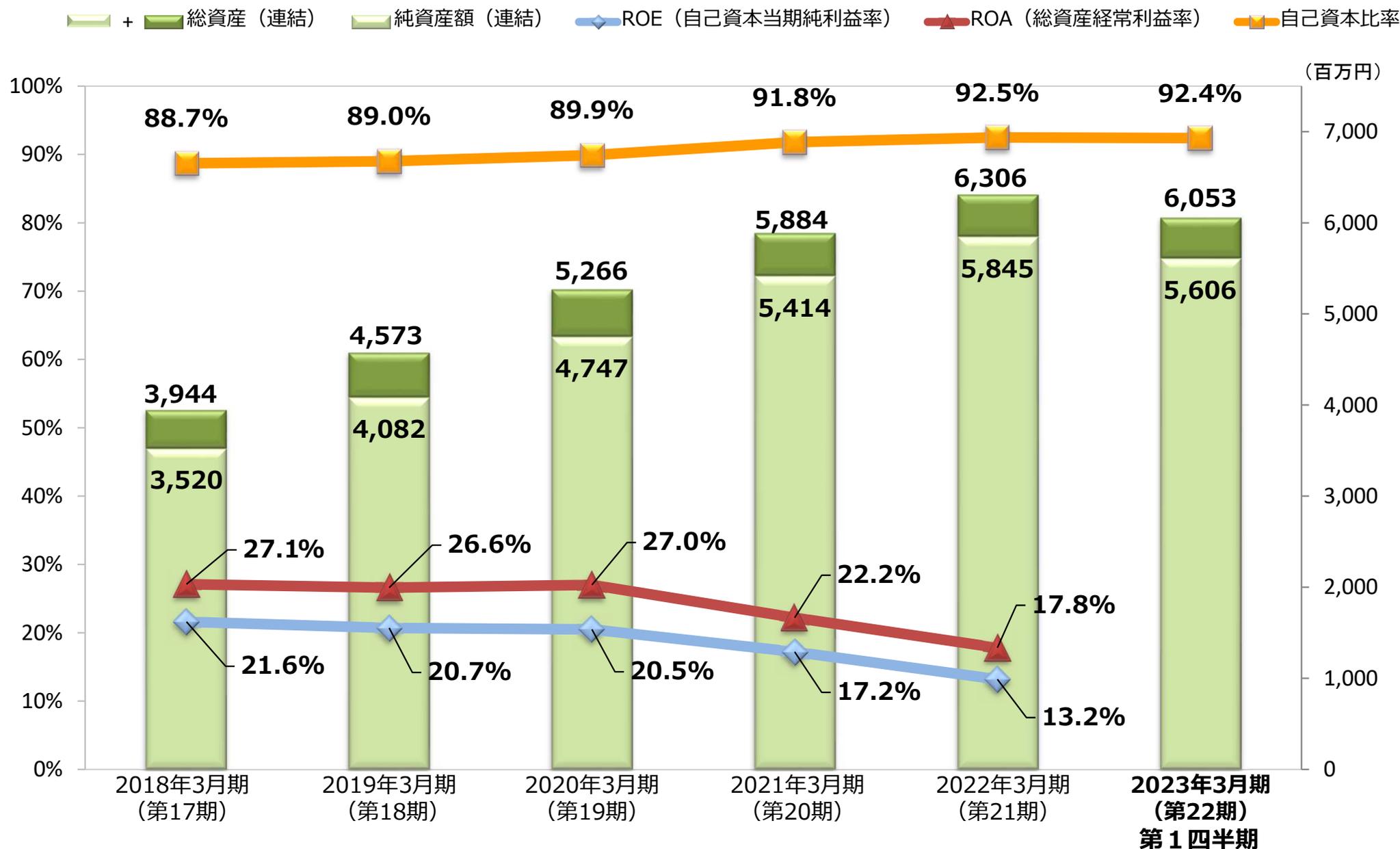
経常利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



資本状況(ROE及びROA等)の推移



本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ

管理部 06-6486-3929

management@ebase.co.jp